

マレーシアの中等教育における美術教育教材研究

福田隆眞

Learning Materials for Secondary School Art Education in Malaysia

FUKUDA Takamasa

(Received December 2, 2002)

キーワード：マレーシア、美術教育、中等教育、教材、伝統的工芸

はじめに

今日、東南アジア諸国においては教育改革が進んでいる。マレーシアにおいても経済成長とともに教育の充実整備が図られてきた。初等中等教育におけるカリキュラムの改訂、高等教育の整備に伴う教育大学の設立、教員養成専門学院の改組整備などが近年進められてきた。

美術教育においても、国民文化としての美術、工芸の文化の伝達・伝授、さらには新たな文化の創造という目的のために実施されている。そして今日、情報化社会に対応するために視覚美術という内容の充実が図られている。本稿ではこうした美術教育の中等教育段階での具体的教材を紹介し、教育内容と美術教育の意義を明らかにするものである。教材についての手ごかりは、一般的には教科書によるところが妥当な方法であるが、現段階ではまだ教科書に相当する書籍が発行されてなく、民間の出版社から発行されている参考書、試験用の図書を使用する。さらに近年の現地調査によって直接取材した内容を付加して、中等教育での美術教育の教材について概略を明らかにする。

I マレーシアの美術教育

マレーシアの教育における美術教育は初等、中等学校でなされている。学校教育制度は、就学前教育、初等教育、中等教育、後期中等教育、高等教育からなっている。日本との関連から述べると、就学前教育は幼稚園にあたり、就学年齢は我が国と同じである。初等教育は小学校 (Sekolah Rendah) で行なわれ、学年は1から6学年までである。

中等教育は、下級中等学校 (Sekolah Menengah Rendah) と上級中等学校 (Sekolah Menengah Tinggi) においてなされている。下級中等学校は我が国の中学校に相当し、1から3学年までである。上級中等学校は2年制である。カリキュラムは1985年からKBSM (Kurikulum Baru Sekolah Menengah 中等学校新カリキュラム) が実施されている。また、中等学校修了時には試験があり、下級中等学校修了時にはPMR (Penilaian Menengah Rendah 下級中等評価)、上級中等学校修了時にはSMP (Sijil Pelajaran Malaysia マレーシア教育課程修学資格証書) が実施されている。

後期中等教育は2年間あり、大学予科の機能も果たしている。カレッジ、ポリテクニクなどのディプロマレベルのコースで行なわれ、修了時にはSTPM (Sijil Tinggi

Persekolahan Malaysia (マレーシア高等学校教育修了資格証書) の試験が実施され、大学の入学資格となる。

このような学校教育制度において、美術教育は教科の一つとして実施されている。初等教育中等教育のいずれにおいても、統一カリキュラムのもとに教育が実施されている。教科書に相当する書籍は国レベルで発行されてはいないが、前述の試験に対応するための参考書に相当する書籍が民間から発行されている。

実際の学校教育現場では、教員が統一カリキュラムに基づいて教材を実施している。また、教員養成においても統一カリキュラムによって実施されているので、教育内容、教育方法、教材はほとんど統一されている。初等教育においては4つの分野「絵画と描画」「模様のデザイン」「構成と工作」「伝統的工芸の紹介」があり、我が国の図画工作に相当する教材が実施されている。特徴としては工作と伝統的工芸の教材が多いことである。^{注①}このカリキュラムでは、「造形美術の基礎」「デザインの方法」「理解と評価」の分野において教材がなされている。造形美術の基礎では、視覚言語、造形要素などが取り扱われ、デザインの方法においては、視覚伝達、グラフィックデザイン、工芸、環境デザインなどがある。理解と評価においては、国民文化としての美術の意義を教授するようになっている。^{注②}次章では中等教育における美術教育の具体的教材を紹介する。

II 中等教育における教材例

前述のように、マレーシアの中等教育においては、初等教育と同様に美術教育の教科書は正式に発行されたものはない。実際の授業に対しては統一カリキュラムに基づいて教師が教材を実践している。また、民間の出版社からは参考書、達成度試験の受験用図書が発行されており、それらは教育省のカリキュラムに沿って編集されている。このことを考慮すれば、参考書等に編纂されている教材を検討することで、美術教育の実態が把握できると考えられる。そこで、以下では参考書、受験用図書によって中等教育の1、2、3および4・5学年の美術教材を紹介する。^{注③}

1 1 学年

以下には中等教育1学年の美術教材を具体的にのべる。題材名と主な項目を列記する。

(1) 線

線の定義、線の種類、身の回りの研究、線の研究、線と運動、線と文様、線とトーン、線と形態、線と空間

(2) 色

概説、色の種類、色と文化、色の価値、配色、色温度、色の効果、色の遠近感

(3) 材質感

概説、材質感の種類、

(4) 形 ^{注④}

概説、形の種類、ポジとネガ、形と模様、形と文字、形とシンボル

(5) 形態

概説、形態の種類、線と形態、形と形態、構成の形態、人間の形態

(6) 空間

概説、空間の種類、空間と遠近感、空間と色彩、

(7) 調和

概説、身の回りのハーモニー、美術作品のハーモニー

(8) 強調

概説、強調の機能、身の回りの強調感、視覚美術における強調表現の方法

(9) バランス

概説、バランスの種類、身の回りのバランス感、バランスの原理

(10) 対比

概説、対比の特徴、身の回りの対比、動きのある美術表現と対比

(11) 運動

概説、身の回りの運動感、視覚美術での運動、

(12) グリッド

身の回りのデザインの構造、グリッドの種類、

(13) 彩色画

概説、媒体・材料・技法、主題と目的、仕上げとプレゼンテーション、評価、理解と評価；作家と作品 (Abdullah Ariff, Yong Mun Sen, Mohammed Hoessein Enas, Dzulkifli Buyong, Mohd.Salehuddin)

(14) 版画

概説、版画の種類、評価、理解と評価；作家と作品 (Abdul Latiff Mohidin, Sharifah Fatimah Zubir)

(15) 彫刻

概説、彫刻の形態、技術、理解と評価；作家と作品 (Syed Ahmad Jamal, Anthony Lau)

(16) ポスター

概説、ポスターデザインの特徴、ポスター制作の過程、ポスターと色の要素、質の高いポスターの特徴、ポスターの理解と評価

(17) パッケージデザイン

概説、パッケージデザインの技法、パッケージデザインの方法、

(18) バティック

概説、バティック布の機能、モチーフと文様、技術と製作過程、評価、バティックの作家 (Hajah Cik Su bt. Haja Ishak, Haji Mohod. Yusof, Encik Awang bin Long, Encik Long bin Abdullah, Haji Ali)、理解と評価 (図1は製作過程の説明図、図2はバティック布の説明)

(19) アニヤマン

概説、アニヤマンに適した材料、アニヤマン美術を製作している地域、タコノキとムクアンノ葉、葉の採集の時期と方法、葉の処理方法、技法と過程、モチーフとアニヤマンの模様、工芸作家 (Hajah Minah bt. Mohamed, Dayang Aishah bt. Awang Husin, Cik Limah bt. Mamat, Cik Siah bt. Jumaat)、理解と評価 (図3、4は簡単なアニヤマンの模様例)

(20) 木彫

概説、伝統的木彫の要素、模様、古典的なモチーフ、花の形、彫刻の技術、材料と用具、製作過程

(2) 製本

概説、皮表紙の技法、仕上げとプレゼンテーション

以上は1学年の教材である。1から12までは造形要素と視覚言語の題材である。これは造形美術の基礎として取り上げられているもので、理論的・実践的に美術教育を実施する目的に適合している。13、14は絵画の領域に相当するものである。16、17は視覚伝達デザインの内容である。そして18から20まではマレーシアの伝統的な工芸が取り上げられている。これらは実習も伴ってはいるが、伝統文化を理解することが重視されている。そして21は製本技術が紹介されていて、実用的な技術習得となっている。

2 2学年

以下に第2学年での教材と主な項目を列記する。

(1) 線

予備知識、材質感を表す線の方法、トーンを表す線の方法、形態を表す線の方法、運動を表す線の方法

(2) 色

予備知識、色の機能、単色配色の機能、色彩調和の機能、補色の機能、明暖色の機能、暗冷色の機能

(3) 材質感

予備知識、身の回りの触覚的材質感の例、身の回りの視覚的材質感の例、材質感の美的特徴と機能

(4) 形

予備知識、形の研究と方法、形と文字の研究、形とサインの研究、形と文様の研究

(5) 形態

予備知識、形態の構造、形態の分類、2次元での形態の描き方、人間の形（図5 顔の表情の例）、資料

(6) 空間

予備知識、視覚美術における空間の概念、建築構造における空間の概念

(7) 調和

予備知識、身の回りの調和感の存在、調和感のあるデザインの方法

(8) 強調

予備知識、身の回りの強調感の存在と有様、視覚伝達における強調の表現方法

(9) バランス

予備知識、身の回りの対称の存在と有様、身の回りの不対称の存在と有様、対称と不対称の比較、美術作品における対称と不対称の原理、美術作品におけるバランス表現の方法

(10) 対比

予備知識、身の回りの対比の存在と有様、美術作品における対比の機能、美術作品における対比の表現方法

(11) 運動

予備知識、身の回りの運動感の役割、視覚美術における運動感の表現方法、

(12) 多様性

予備知識、身の回りの多様性、多様性の機能、美術作品における多様性の創作方法

(13) 統一

予備知識、身の回りの統一感、統一感の機能、視覚美術における統一感の表現方法

(14) グリッド

予備知識、形式的なグリッドの構造、非形式的なグリッドの構造、形式的な構造での模様デザインの手法と技術、非形式的な構造での模様デザインの手法と技術、グリッドと描画の関連

(15) 描画

美術とコミュニケーション（はじめに、用具・材料・技術、植物画、理解と評価）（図6は線を使った技法の例、図7は植物の描き方の例）

(16) 彩色画

予備知識、風景画、媒体・用具・技術・絵の具の塗り方、作家と作品の理解と評価（Kuo Ju Ping, Tay Hooi Keat, Khaw Sia, Lai Foong Moi, Patrick Ng Kah Onn, Syed Ahamad Jamal, Mohamed Hoessein Enas, Yeoh Jin Leng, Jolly Koh, Chuah Thean Teng, Khalil Ibrahim）

(17) 版画

予備知識、彫りの技法、彫刻刀の種類、彫りの過程、版画作品の理解と評価

(18) 彫刻

予備知識、彫刻の種類と技法、仕上げとプレゼンテーション、維持管理、評価

(19) ロゴマーク

概説、ロゴマークの種類、ロゴマークのデザインの技法・媒体・過程

(20) イラストレーション

概説、日常生活におけるイラストレーションの機能、イラストレーションの種類、媒体と技法、文学の挿絵のデザイン

(21) バティック

予備知識、現代のバティックの発展、新しいバティック模様の特徴、バティックの協会と組織の役割、わが国のバティック画家（Chuah Thean Teng, Tay Mo Leong, Khalil Ibrahim, Syed Shaharuddin Bakeri）

(22) アニヤマン

予備知識、クラライ^{注5)}、クラライの種類、タコノキあるいはムンクアンの葉のアニヤマンの技法、仕上げとプレゼンテーション、管理維持、評価、アニヤマン協会と組織の役割、理解と評価—アニヤマン美術の現状

(23) 木彫

予備知識、花のレリーフ彫り、花のレリーフに適した模様の例、シラットの形^{注6)}、伝統的な仕上げ、作家（Encik Latif bin Long, Encik Long, Tuan Haji Wan Su Othman）、評価、現代の発展

(24) 陶芸

予備知識（図8は新石器時代の例を説明している）、粘土の過程、成形、焼成、ラブ・サヨン（ペラ州の焼物）^{注7)}

(25) 製本

予備知識、簡単なフォリオの作成、皮製のフォリオの作成

2学年は1学年と同様な教材構成となっている。領域としては、造形美術の基礎、デザイン、伝統的工芸である。1から14までは1学年と同じく視覚言語と造形要素の内容である。1学年と同じ項目ではあるが、内容的には1学年に比べて複雑化高度化している。15、16、17は絵画である。1学年に比べ複雑化している。18は彫刻であり技術的な習得に重点が置かれている。19、20は視覚伝達デザインであり1学年の内容とは異なった題材である。21から24は伝統的工芸であり、1学年にくらべより詳細に解説されている。

3 3学年

3学年では資料とした参考書では、領域を明示して教材を取り上げている。ここでは「視覚伝達」「工芸」「理解と評価」となっており、1、2学年での基礎的な内容の延長として各題材が扱われている。以下に題材名と項目を列記する。

視覚伝達領域

(1) 描画

予備知識、特別な描画の特徴、用具・材料・媒体、描画技法、美の比率原理、風景画(図9参照)

(2) 彩色画

予備知識、彩色画の描き方

(3) 版画

予備知識、ステンシル、フィルムによるステンシル、多色ステンシル、仕上げとプレゼンテーション

(4) コラージュ

概説、コラージュの様々な技法、用具と材料、コラージュ制作での重要用語、仕上げ・表示・管理

(5) 彫刻

予備知識、彫刻制作の過程(図10はクリスの種類と形の例)、彫刻の理解と評価

(6) 漫画

概説、漫画の特徴、媒体・用具・技法、制作過程、漫画の質を高める特徴、漫画と風刺画の相違、仕上げとプレゼンテーション、マレーシアの現代の漫画家と風刺画家(Datuk Mohamad Nor Khalid, Jaafar-Taib, Rejabhad, Zainal Osman)

(7) カリグラフィー

概説、カリグラフィーの特徴、カリグラフィーの機能、ローマ字カリグラフィーの種類、イスラムカリグラフィー、用具・媒体、手書きの基礎技法、イタリック体の技法、線引きと模様の方法、カリグラフィーの質を高める特徴、マレーシアのカリグラフィー作家(Sheikh Omar Basaree, Mohammed Yusuf Abu Bakar, Syed Abdul Rahaman, Ahmad Khalid Yusoff)

(8) イラストレーション

予備知識、商業のためのイラストレーション、質の高い商業のためのイラストレーションの特徴

工芸領域

(9) アニヤマン

予備知識、竹のアニヤマン（概説、竹の模様の特徴、竹の模様の種類、材料と用具、技法と制作過程、仕上げとプレゼンテーション、維持管理、新しいアニヤマン）、籐のアニヤマン（概説、技法と制作過程、籐の作品、仕上げとプレゼンテーション）

(10) バティック

予備知識、バティックの歴史、バティックの特徴、バティックの仕上げとプレゼンテーション、維持管理、バティックの利用価値、簡単なバティックの版

(11) 木彫

予備知識、透かし彫りの技法、木彫作品の評価、維持管理、新しい木彫（図11は新しい木彫の作品例）、木彫協会と組織の役割

(12) 陶芸

予備知識、紐作りの技法、板作りの技法、仕上げとプレゼンテーション、維持管理、陶芸協会と組織の役割、理解と評価

(13) 織物

概説、伝統的な織物の模様（図12は織物の模様の例）、伝統的織物の用具と材料、現代の織物、織物における色の効果、仕上げとプレゼンテーション、評価、維持管理

(14) 製本

予備知識、製本について、技法、仕上げとプレゼンテーション

理解と評価領域

(15) 純粋美術

描画、彩色画、版画、コラージュ、彫刻、漫画

(16) グラフィックアート

ポスター、宣伝美術、ポスターと宣伝美術の比較、ロゴマーク、記章、ロゴマークと記章の比較、パッケージデザイン

(17) 国民文化における美術の発展

アニヤマン、バティック、陶芸、プア、木彫、イスラム建築

(18) 外国の美術

マレーシアとインドネシアのバティックの類似点と相違点、マレーシアと中国の陶芸の類似点と相違点、マレーシアとインドネシアの木彫の類似点と相違点

ここでは絵画や版画、彫刻といったいわゆる純粋美術に属する題材も視覚伝達という機能で括られている。美術とデザインの領域が不明瞭となって包括されていると見なすことができる。理解と評価の領域では文化としての美術の題材が位置づけられており、鑑賞の領域と同時に美術に対する理解とその評価を習得するものである。

4 4・5 学年

4・5 学年は我が国では高等学校に相当する。実技の内容を含んでいるが、理論的に理解する方法がとられている。また、領域も「絵画」「視覚伝達」「工芸」「環境美術」「理解と評価」となっている。こうした領域の分類の差は著者の見解にもよるところがある。

絵画領域

(1) 描画

用具と媒体、描画の過程、描画の各段階、テーマと目的の決定

(2) 彩色画

絵画の流れ、絵画の媒体、油絵の技法、油絵の用具と媒体、彩色の過程

(3) 版画

凸版、凹版、平版、孔版（シルクスクリーン）

(4) 壁画

学校での壁画の種類、壁画の制作過程

(5) 彫刻

彫刻の種類、彫刻の形、彫像の制作

視覚伝達領域

(6) グラフィックデザイン

シンボル・デザイン、パンフレット・デザイン、看板のデザイン、パッケージ・デザイン

工芸領域

(7) バティック

型押しバティックの方法、手描きバティックの方法、スクリーンバティックの方法、絞り染めのバティックの方法、新しいバティック

(8) アニヤマン

ムクアンあるいはタコノキのアニヤマン、ムクアンの新しいアニヤマン、竹のアニヤマン、籐のアニヤマン

(9) 陶芸

伝統的陶芸、陶芸の技術と技法、板作りと紐作りの技法（ラブ・サヨンの過程）、ロクロの技法、レンガの窯、新しい陶芸製品

(10) 伝統的木工

花模様の種類、木彫の様々な形、シラットの様々な形、伝統的な木彫の模様、彫りの過程、新しい木彫

(11) 織物

伝統的なソンケット織り、伝統的なソンケットの模様とモチーフ、伝統的ソンケット織りの過程、プア布によるプア織りの過程と技法^{注8)}、織物における新しい局面

環境美術領域

(12) 室内装飾

室内装飾の基礎、室内装飾の過程、各段階とアレンジ

(13) 環境デザイン

景観における植物の機能、景観デザインの過程、

理解と評価領域

(14) 生活における美術

経済に対する美術の効果、国家の教育に対する美術の効果、文化に対する美術の効果、美術の発展の問題、美術の分野での成功の期待、グラフィックアートと商業の関係、伝統的地域における家屋のデザイン

(15) 国民文化における美術の発展

民衆美術の起源

(16) 文化遺産

武器：クリス、装飾：刺繍、テキスタイル：テヌナン、建物：トレンガンヌ地方の家屋

(17) 現代マレーシアの絵画の発展

1930・40年代、1950年代、1960・70年代、マレーシアの絵画に貢献した団体・大学（水曜美術連盟、マレーシア画家連盟、木曜美術連盟、ナンヤン美術専門学院、特別教員養成学院、マラ工科大学、マレーシア美術専門学校、クアラルンプール美術専門学校、マレーシア科学大学、国立美術館）

(18) 現代マレーシア画家の作品研究

Ismail Mustam, Dzulkifli Buyung, Cheong Laitong, Peter Harris, Anthony Lau, Mohammed Hoessein Enas, Tay Hooi Keat, Chua Thean Teng, Ibrahim Hussin

(19) 他の文化での美術

ソンケット、彩色画

この学年では研究的な内容が多く、それぞれの領域の題材において、解説も詳しく知識の習得と理論的な美術の理解を促そうとしている。特に7から11の伝統工芸の領域と14から18の理解と評価の領域では、自国の文化を詳述しており、国民文化として美術を強調し認識を深めることを促している。

Ⅲ 教材の構造と教育内容

前章で見たように、マレーシアの中等教育での美術の教材は、造形美術の基礎、視覚伝達、工芸、理解と評価の領域で構成されている。このことは教育省のシラバスに準拠するものであり、統一カリキュラムに内容的に合致している。これらの具体的教材を通して、教材の構造と教育内容の特徴として、以下のようなことが考えられる。

1 教材の系統的配列

教育内容の領域は各学年を通じて類似した教材で設定されている。そして教材の内容は平易なものから難解なものへ、単純なものから複雑なものへと構成されていて、発達段階が考慮されている。

2 生活に関連した造形の領域

前述のように、教育内容は、造形美術の基礎、視覚伝達、工芸、理解と評価という領域に分けられている。造形美術の基礎は1、2学年に設定されており、日本の中学校に相当する学習内容である。美術教育の内容の枠組みとして、純粋美術、応用美術というような西欧の分け方ではなく、視覚伝達、工芸といったいずれも生活に関連した内容から構成されている。また、理解と評価の領域においても、マレーシアの伝統的工芸や近代現代の美術を紹介している。

3 工芸と視覚伝達の重視

マレーシア独自の美術の枠組みとして伝統的工芸を含めた工芸と美術を機能として捉えた視覚伝達という領域を重視している。3学年においては、絵画も彫刻もイラストレーションも含めて視覚伝達として領域を設定している。そしてそれらと同じ位置づけとして工芸の領域を設定している。本来、マレーシア独自の歴史的美術は工芸であった。それに加えて宗教美術が存在する。いわゆる絵画、彫刻といった純粋美術の表現といった内容は戦

後の独立以降の流れである。こうしたことから、美術教育の内容を西洋の枠組みで捉えるのではなく、マレーシア独自の枠組みで理解を促そうとしていると考えられる。

4 国民文化の理解

4・5学年においては理解と評価の領域として、研究的な内容が取り上げられている。そしてそれはマレーシアの国民文化として伝統的な工芸、建築などを紹介し理解を促している。また、同時に独立時前後からのマレーシアの独自の美術文化を伝えるための題材が設定されている。国民文化を歴史的伝統からの側面と近現代の側面から捉えることを促している。

5 技法・知識の習得

それぞれの題材においては学習の過程が明快に示されている。それは次のような順序で解説されている。

- ①題材の予備的知識あるいは題材の概略
- ②題材の内容に関する歴史的解説あるいは題材の種類解説
- ③題材の特徴、技法・技術、仕上げとプレゼンテーション、保守管理
- ④題材の評価や理解の方法
- ⑤題材に関する練習問題

こうした順序で題材が解説されており、個々の題材に対して網羅的に扱っている。知識や技法の解説が詳しいのが特徴である。このことは美術教育のもつ教育的役割として、美術文化を伝承するという役割を重視していると考えられる。

以上は、教材の構造と教育内容についてその特徴を述べた。美術教育は文化を伝授・伝達する役割と文化を創造する役割がある。マレーシアにおける現段階での美術教育では国民文化にたいする共通理解や共通認識を広く流布し、文化の保護と創造に勤めようとしている。

注

- (1) マレーシアの初等教育の美術教育についてはすでに発表している。福田隆眞・佐々木 宰「マレーシアの教育課程に見られる初等美術教育について」(山口大学教育学部研究論叢 第49巻 第3部) 1999年 参照。
- (2) 福田隆眞・佐々木 宰「マレーシアにおける中等美術教育のカリキュラム」(山口大学教育学部研究論叢 第50巻 第3部) 2000年 参照。
- (3) 本稿で資料とした参考書は以下である。
 - 1年 Kathleen Chee PENDIDIKAN SENI Tingkatan 1 KBSM Penerbitan Pelangi Sdn. Bhd. 1996
 - 2年 Kathleen Chee PENDIDIKAN SENI Tingkatan 2 KBSM Penerbitan Pelangi Sdn. Bhd. 1996
 - 3年 Kathleen Chee PENDIDIKAN SENI Tingkatan 3 KBSM Penerbitan Pelangi Sdn. Bhd. 1998
 - 4・5年 Hassan Mohd Ghazali, Pendidikan Seni Tingkatan 4&4 KBSM Pustaka Delta Pelajaran Sdn Bhd 1997
- (4) 形と形態の区別として、形は平面的な形状を意味し、形態は立体的な特性をさしている。

- (5) アニヤマンの四角形の模様のことを指す。
- (6) 木彫の堀の技法と仕上げの種類で、レリーフ状の表面の形のこと。
- (7) ペラ州の伝統的な焼き物で、壺の形や表面の模様に特色がある。
- (8) 東マレーシアのサバ、サラワクの織物の一種。

図版出典は前述3の資料による。

参考文献

- ・ Kathleen Chee PENDIDIKAN SENI (TEORI SENI 1) SPM, Penerbitan Pelangi Sdn. Bhd. 1997
- ・ Kathleen Chee PENDIDIKAN SENI (TEORI SENI 2) SPM, Penerbitan Pelangi Sdn. Bhd. 1997
- ・ Kathleen Chee PENDIDIKAN SENI SPM, Penerbitan Pelangi Sdn. Bhd. 1999

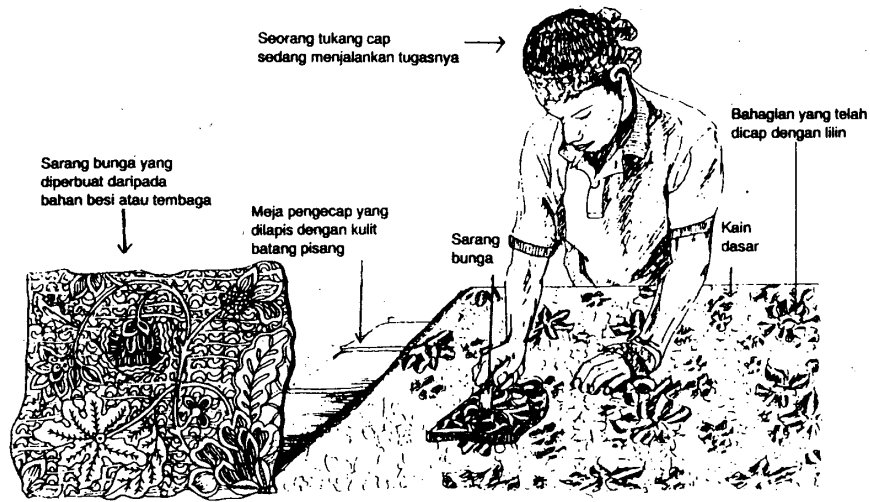


図1 バティックの制作過程の説明図

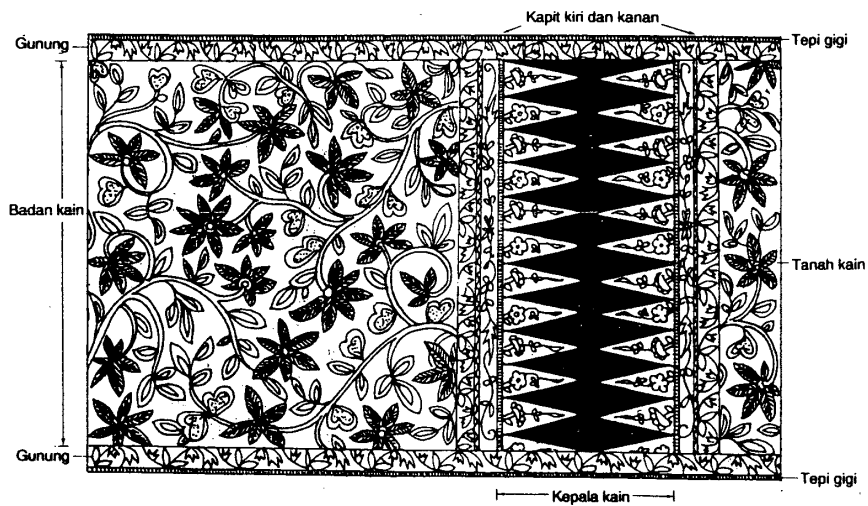


図2 バティック布の説明

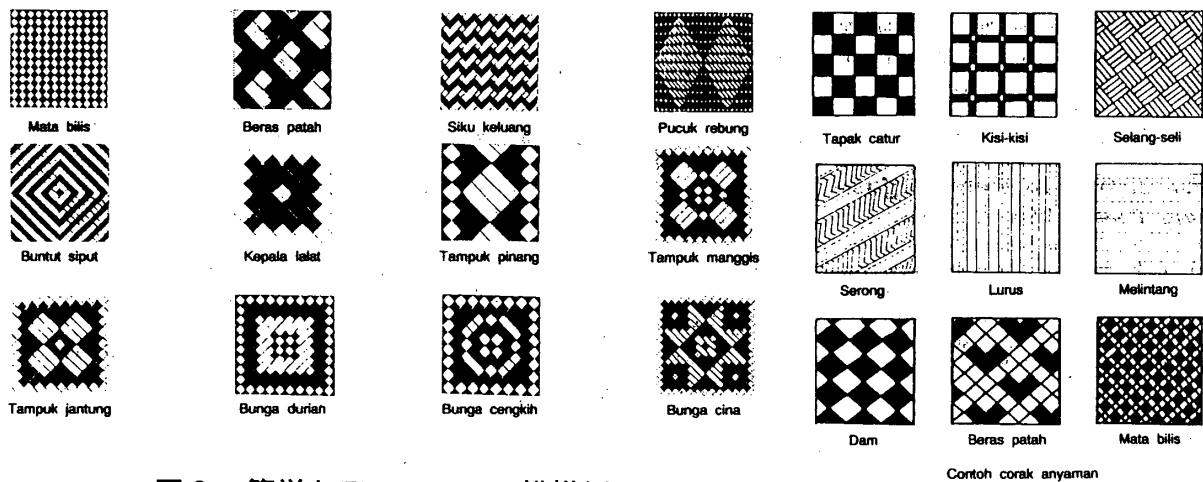
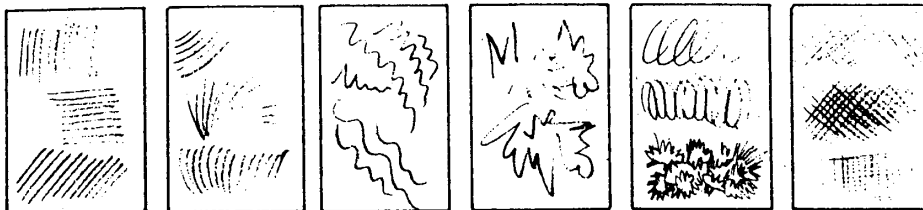


図3 簡単なアチャマンの模様例

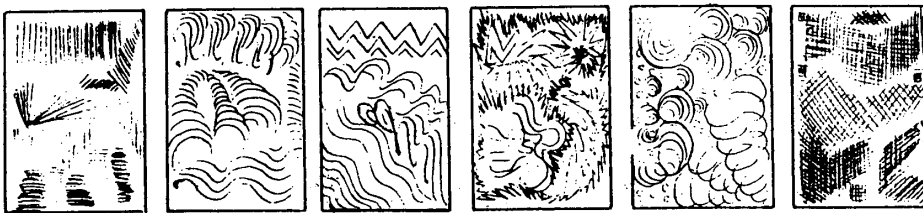
図4 アチャマンの模様例



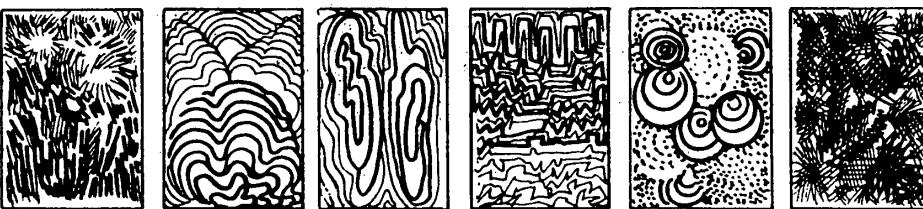
図5 人間の顔と表情の例



Garisan dengan pensel



Garisan dengan pen mata bola



Garisan dengan pen fel

図6 線による技法の例

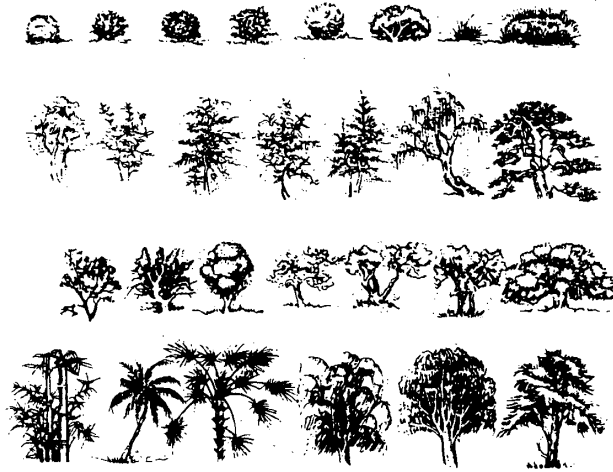


図7 植物の種類例



図8 新石器時代の陶芸の例

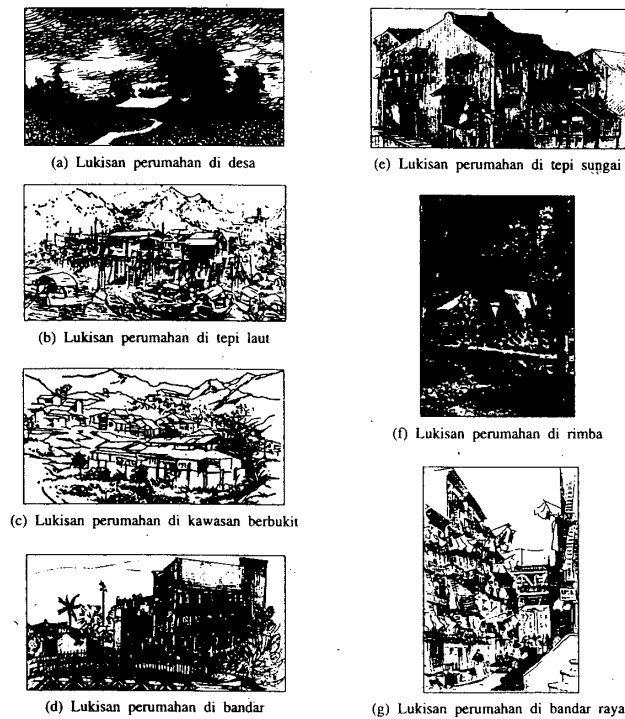


図9 風景画の例

Pelbagai jenis dan rupa bentuk keris

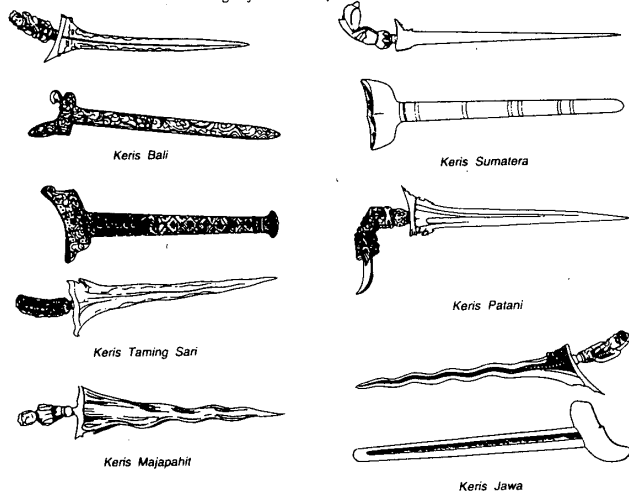


図10 クリスの種類と形

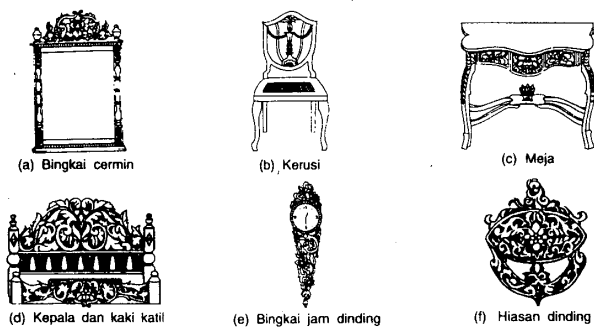


図11 新しい木彫の例

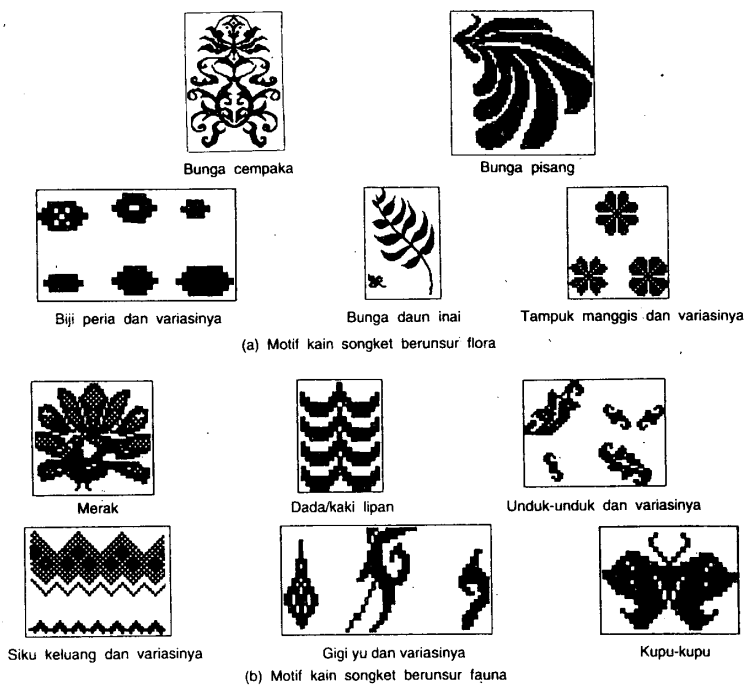


図12 織物の模様例